

NSG

GROUP



NSG グループ

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)

日本板硝子株式会社
2014年11月6日

吉川 恵治

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

諸岡 賢一

執行役副社長

2015年3月期第2四半期決算報告
(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

要点：2014年4月 - 2014年9月



- 第2四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 個別開示項目において、一過性の要因による収益を計上

2015年3月期第2四半期決算報告
(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

まとめ

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 4月-9月期	14年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	3,095	3,022	2%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	103	92	
償却費*	(42)	(43)	
個別開示項目前営業利益	61	49	
個別開示項目	132	(60)	
営業利益(損失)	193	(11)	
金融費用(純額)	(94)	(94)	
持分法による投資利益	4	4	
税引前利益(損失)	103	(101)	
当期利益(損失)	79	(105)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	75	(111)	
EBITDA	265	252	5%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと0%

収益性がさらに改善

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

7

売上高は3,095億円となり、前年同期に比べて2%の増収となりました。ただし、増加分は円安に伴う為替換算の影響によるものです。

好調な市場と低調な市場が混在している中、業績は前年同期と比較して改善しています。

個別開示項目は、残存しているリストラクチャリング施策による費用と、2つの個別案件による収益を含んでいます。

金融費用、持分法による投資利益ともに、前年同期と同様の水準となりました。

当期利益は、当第2四半期に個別開示項目に計上した収益によって、黒字となりました。

個別開示項目



	15年3月期 4月-9月期
(億円)	
投資の分類変更による評価益	133
有形固定資産等の売却による利益	45
リストラクチャリング費用	(42)
その他	(4)
	132

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

8

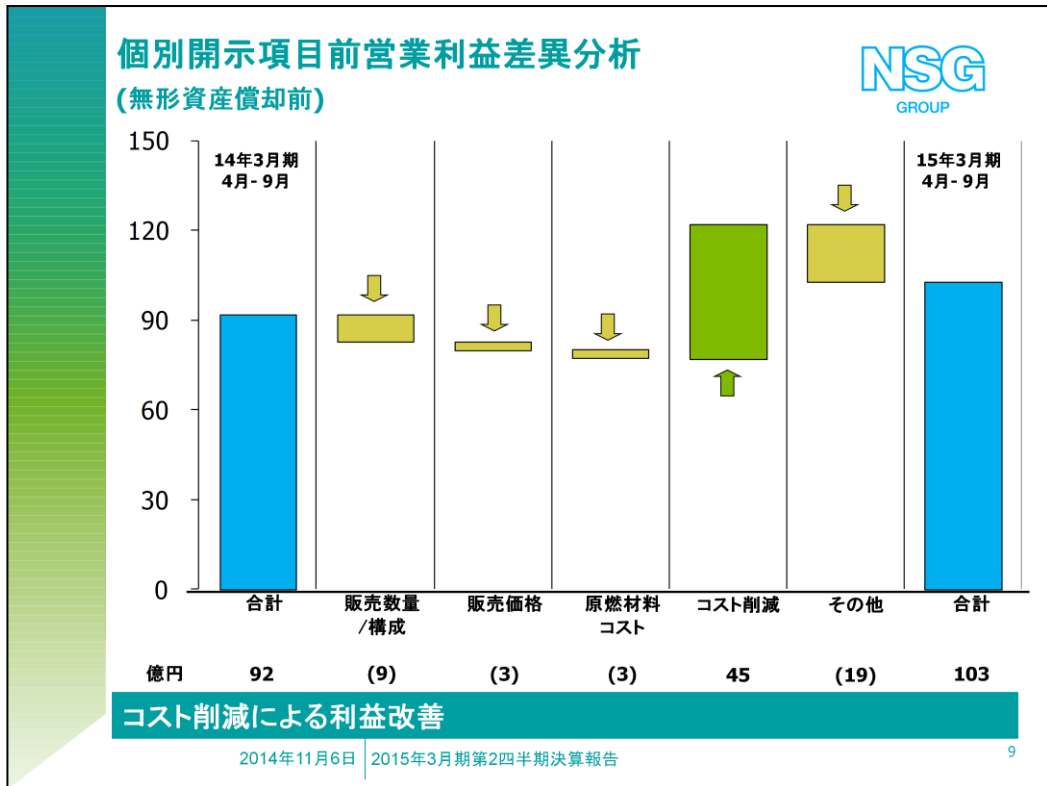
個別開示項目には、残存しているリストラクチャリング施策による費用と合わせて、重要性の高い2つの個別案件による収益が含まれています。

「投資の分類変更による評価益」は、中国のガラス会社、Shanghai Yaohua Pilkington Glass Group., Ltd. (SYP社)のマネジメントに対する当社グループの関与の割合が減少したことによるものです。

SYP社に対して重要な影響力を有しなくなったことにより、当社グループが保有するSYP社の出資持分を金融資産として組替える会計処理の変更が必要となりました。従来は、SYP社の出資持分を「持分法で会計処理される投資」として計上していました。

当社グループが保有するSYP社の持分を市場価格に基づいて評価を行った結果、133億円の収益を計上しました。

「有形固定資産等の売却による利益」は兵庫県伊丹市所在の土地について、セール・アンド・リースバック取引を実施したことによって、計上したものです。



販売数量/構成の変化は、好調な地域と低調な地域が混在しています。北米など一部の市場で見られた改善は、南米の自動車用ガラス事業や、消費増税による影響を受けた日本の建築用ガラス事業の数量減少によって相殺されました。

販売価格は、ほとんどの地域で安定的に推移しました。投入コストは、前年と同様の水準でした。

コスト削減による効果は、計画に沿う形で発現しています。

「その他」はマイナスになっていますが、これは主に前年に認識した一過性の収益に起因しています。

連結キャッシュ・フロー



(億円)	15年3月期 4月-6月期	15年3月期 7月-9月期	15年3月期 4月-9月期
当期利益(損失)	(47)	126	79
減価償却費	103	103	206
運転資本の増減	(73)	51	(22)
法人所得税支払額	(14)	(6)	(20)
有形固定資産除売却損益	-	(44)	(44)
投資の分類変更による評価益	-	(133)	(133)
その他	(36)	(39)	(75)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(67)	58	(9)
固定資産の取得	(76)	(80)	(156)
その他	3	43	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	(73)	(37)	(110)
フリー・キャッシュ・フロー	(140)	21	(119)

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

10

上半期のフリー・キャッシュ・フローは、119億円のマイナスとなりました。

四半期毎に見ると、第2四半期のキャッシュ・フローは第1四半期に比べて改善しました。これは主に第2四半期における運転資本の減少によるものです。

主要財務指標 (KPI)



	2014年9月末	2014年3月末
ネット借入(億円)	3,899	3,791
ネット借入/EBITDA	7.0x	7.0x
ネット借入/純資産比率	2.1	2.2
	2015年3月期 4月-9月期	2014年3月期 4月-9月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.4x	3.3x
営業利益率*	3.3%	3.0%

*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

11

「ネット借入/EBITDA」に関しては、ネット借入が増加していますが、EBITDAの改善によって相殺されています。2014年度の下半期において、この指標が改善していくことを見込んでいます。

このスライドの下部で表示されている損益計算書関連の指標ですが、引き続き収益の改善による影響を享受しています。

マーケットの概況



- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
 - 欧州では、本格的な市況の回復には至っていない。
 - 日本では、消費増税を受け、数量の減少が見られた。
 - 南米の市場は低調。
 - 東南アジアでは、建築用ガラスの数量とソーラー用ガラスの出荷が改善。
 - 北米の市場は力強さを見せた。
- 各事業の収益性は、下半期に改善する見通し

コスト削減による利益改善

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

12

マーケットの状況は、改善している地域と低調な地域が混在しています。

欧州では、本格的な市況の回復には至っていません。

日本では、年度の初めにおける消費増税の影響により、建築用ガラスの数量が減少しました。

南米の市場は低調でしたが、東南アジアでは、建築用ガラス事業の数量とソーラー用ガラスの出荷が改善しました。

北米は需要の増加により力強さを見せました。

このように、改善している地域と低調な地域が混在する中、利益は前年同期と比較して改善しています。当社グループは、引き続きコスト削減による効果を楽しみながら、各市場の状況が少しずつ回復することを想定しており、各事業の収益性が下半期において改善することを見込んでおります。

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)



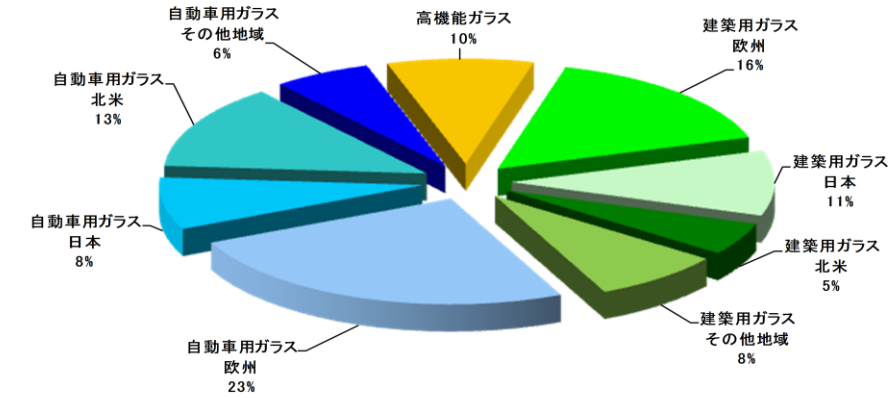
アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

事業別売上高

NSG
GROUP

3,095億円



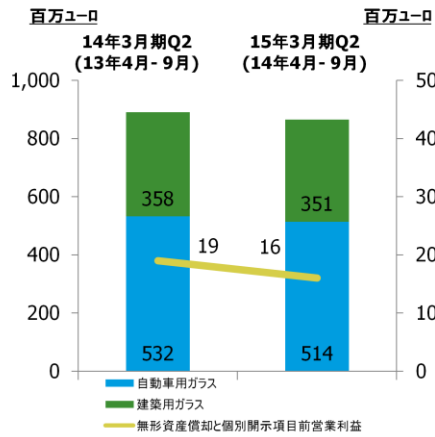
2015年3月期
(4月 - 9月)

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

14

当社グループの地域別の売上高構成比は、欧州が約40%、日本が約24%、北米で約18%、その他の地域が約17%となっています。

欧州
2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 市場状況は安定
- 利益は前年並み

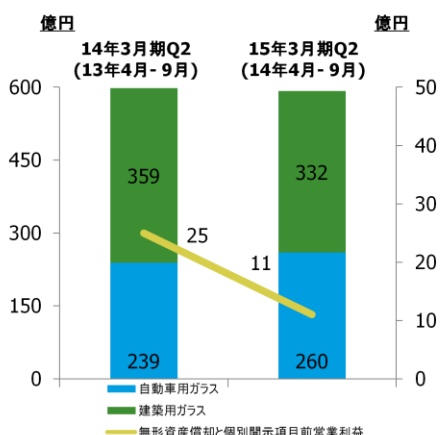
自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラス市場の回復がスローダウン
- 補修(AGR)用ガラスは暖冬の影響により数量減少

欧州の建築用ガラス市場の需要は安定しており、NSGグループの数量も前年と同様の水準でした。営業利益も前年並みでした。

自動車用ガラス事業では、新車(OE)用ガラス市場の回復がスローダウンしています。補修(AGR)用ガラスの数量は、暖冬の影響により減少しています。

日本 2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 消費増税により数量減
- 投入コストの増加が利益に影響
- 長期的見通しは引き続きポジティブ

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの数量は、消費増税にかかわらず堅調
- 投入コスト(主にエネルギー関連)の増加が利益に影響

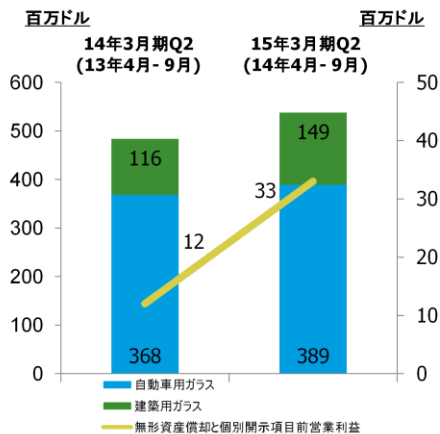
2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

16

建築用ガラス事業では、消費増税に伴う需要の減少により、数量が減少しました。主にエネルギーなどの投入コストの増加により、営業利益が影響を受けました。建築用ガラス事業を取り巻く長期的見通しは、引き続きポジティブなものとなっています。

自動車用ガラス事業の新車(OE)事業では、消費増税にも関わらず堅調な需要により、前年より数量が増加しています。主にエネルギーなどの投入コストの増加により、営業利益が影響を受けています。

北米 2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 売上、利益ともに前年比改善
- 国内およびソーラー用ガラスの需要が改善し数量増加
- 国内価格水準は前年度を上回る

自動車用ガラス事業

- OE市場の数量は引き続き増加
- AGRは厳冬の影響を受け需要旺盛

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

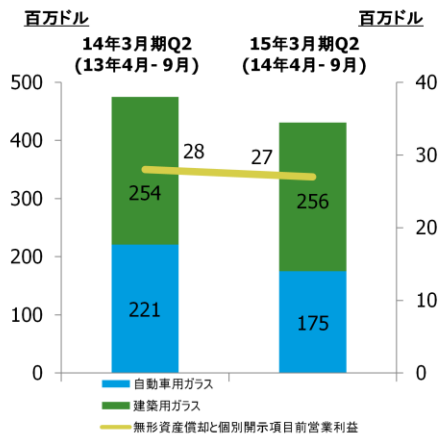
17

建築用ガラス事業の数量は、国内及びソーラー用ガラスの需要の改善により、力強さを見せています。価格も前年に比べて改善しています。

自動車用ガラスの新車(OE)市場の数量は、引き続き増加しています。

補修用(AGR)事業は、厳冬の影響による旺盛な需要のメリットを享受しています。

その他地域 2014年3月期第2四半期との比較



建築用ガラス事業

- 東南アジアは国内需要改善およびソーラー用ガラス増加により堅調な市場
- アルゼンチンは低調な市場状況

自動車用ガラス事業

- ブラジルの市場は引き続き低調に推移
- アルゼンチンは厳しい経済環境

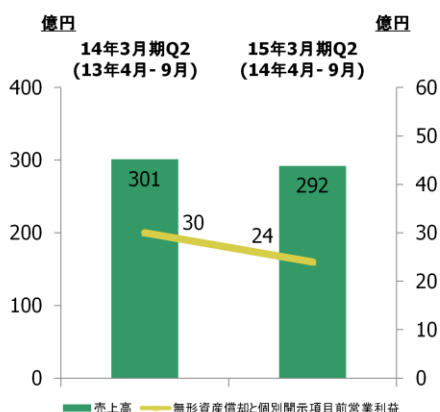
2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

18

その他地域の建築用ガラス事業では、南米の数量は低調に推移していますが、東南アジアでは需要の改善とベトナムから出荷されるソーラー用ガラスの数量が増加しています。

南米の自動車用ガラス市場は、引き続き低調に推移しています。

高機能ガラス事業 2014年3月期第2四半期との比較



高機能ガラス事業

- オフィス向けプリンター用レンズの需要が改善
- グラスコードは前年並みの数量
- ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けている

2014年11月6日 | 2015年3月期第2四半期決算報告

19

高機能ガラス事業の売上高は、前年と同様の水準でした。

ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けましたが、その影響はオフィス向けプリンター用レンズの需要の改善によって相殺されました。

グラスコードの市場は前年と同様の水準で推移しました。

2015年3月期第2四半期決算報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- まとめ

- 第2四半期の業績は前年より改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- 個別開示項目において、一過性の要因による収益を計上
- 通期業績見通しは変更なし

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高
(2014年4月1日～2014年9月30日)



(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	332	490	153	264	1,239
自動車用ガラス	259	717	401	180	1,557
高機能ガラス	153	41	6	92	292
その他	6	1	0	0	7
合計	750	1,249	560	536	3,095

償却前営業利益*
(2014年4月1日～2014年9月30日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	57	39	24	(17)	103

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
営業利益*	15	26	31	31	103

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

為替レート



	2014年3月期 4月-9月	2015年3月期 4月-9月
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	153	173
円/ユーロ	131	140
円/米ドル	99	103
期末為替レート:		
円/英ポンド	158	178
円/ユーロ	132	139
円/米ドル	98	109

NSG

GROUP